

# 【道徳・小6・「森川君のうわさ」C公正、公平、社会正義】①

## 育成を目指す資質・能力

正義を買きたいと思った主人公の心の変化を考える場面において、自分が主人公の立場ならどうしていたのかを考える活動を通して、周りの様子や人間関係に流されず、誰に対しても公正、公平な態度で接していこうとする道徳的態度を育てる。

## ICT活用のポイント

アンケート結果をグラフにより可視化し、道徳的な課題を自分自身の問題として考えさせるための導入の工夫  
思考を可視化し、道徳的価値についての多様な考えの共有・比較による、多面的・多角的に考えるための議論の充実

### 【導入】

本時で扱う道徳的価値について、  
問題意識をもつ

誰に対しても平等に接するためには  
どうしたらよいか。

### 【展開】

教材を通して道徳的価値についての  
考えをもち、交流する。

あなただったら「ちがう」って言える？

言わなきゃと思った主人公の心は  
どんな気持ちだったのでしょうか。

### 【展開】

道徳的価値に対する多様な意見を知り  
学習のめあてについてもう一度考える。

### 【終末】

道徳的価値に対する思いや願い、  
考えを振り返る。

## 事例の概要

### 【事例におけるICT活用場面①】

○問題意識をもたせるために、大型提示装置を活用して、児童の道徳的価値に対する実態についてのアンケート結果を掲示し、うわさ話を信じた経験やそのときの気持ちを確認する。

### 【事例におけるICT活用場面②】

○主人公の行動から自分自身の問題として捉えるために、色の分かれている立場のテキストを選ぶ。

黄：言える

赤：言わない

青：言いたい気持ちはあるが言えない

緑：何もしない

○大型提示装置やICT端末を活用して、それぞれの意見を共有し、児童が選択した意見を比較して、多面的・多角的に考える。

# 【道徳・小6・「森川君のうわさ」C公正、公平、社会正義】②

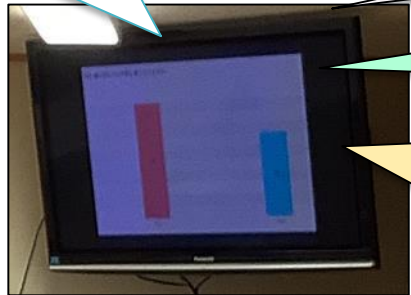
## 【事例におけるICT活用の場面①】

誰に対しても平等に接していますか。

「いいえ」が予想よりも多いよ。

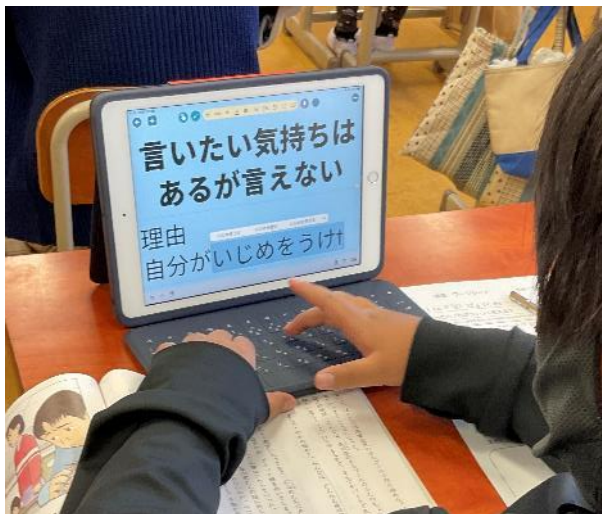
平等に接することは大切なのに・・・。

主人公の「ぼく」も平等に接することができていないな。自分たちと似ているな。

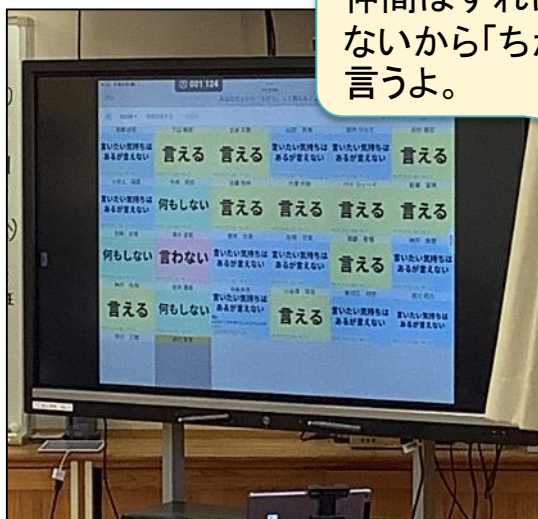


本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ場面では、本当か分からない噂話を信じて、噂を流した経験やその時の気持ち、友達に平等に接しているか等の事前アンケートの結果をグラフ化して大型提示装置に示した。児童の実態から分かる課題と、教材の中にある課題を関連付けて捉えさせ、児童の考える課題から本時のめあてにつなげることで、しっかりと問題意識をもたせることができた。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



仲間はずれはよくないから「ちがう」と言うよ。



言った方がいいけど、少し怖いから言えないかも。



### 【活用したソフトや機能】

- ・アンケート  
(結果のグラフ化)
- ・学習支援ソフト  
(共有機能)

教材を通して道徳的価値についての考えをもち、交流する場面では、色別(赤・青・黄・緑)のテキストを選択し、その理由を記入した後、大型提示装置で全員の考えを共有した。ペアになって、自分と異なる考えや同じテキストを選んでいても理由が異なるもの等、より詳しくお互いの考えを共有・比較することで、その後の全体での活発な話し合いにつなげることができた。また、道徳的価値への考えを深めたり、広げたりすることができた。